

平成23年度 第4回
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成24年3月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	30企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	30企業	⑥ 精密機器関係	30企業
⑦ 縫製関係	45企業	⑧ 樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成24年3月31日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

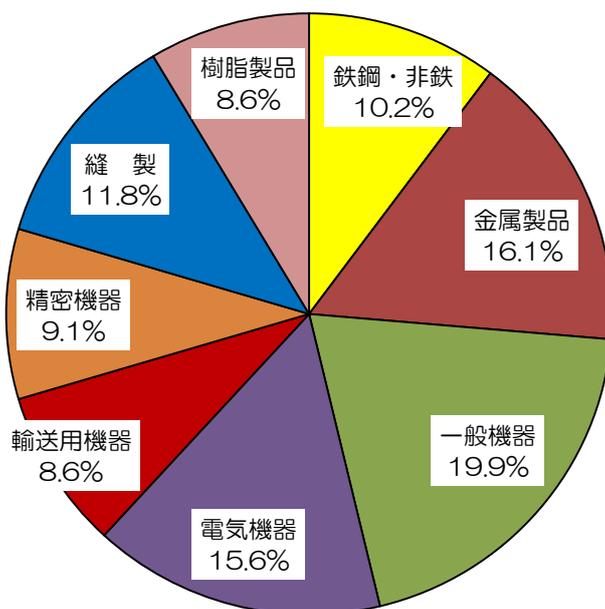
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

① 調査対象企業数	300 企業		
② 回収企業	186 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	19 企業	(10.2%)
	金属製品関係	30 企業	(16.1%)
	一般機器関係	37 企業	(19.9%)
	電気機器関係	29 企業	(15.6%)
	輸送用機器関係	16 企業	(8.6%)
	精密機器関係	17 企業	(9.1%)
	縫製関係	22 企業	(11.8%)
	樹脂製品関係	16 企業	(8.6%)
④ 回収率	62.0 %		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	15 8.1%	1 5.3%	1 3.3%		2 6.9%	1 6.3%	1 5.9%	8 36.4%	1 6.3%
~300万円	14 7.5%	1 5.3%	1 3.3%		2 6.9%	3 18.8%	1 5.9%	4 18.2%	2 12.5%
301~999万円	9 4.8%		3 10.0%			2 12.5%		2 9.1%	2 12.5%
1000~2000万円	98 52.7%	9 47.4%	19 63.3%	25 67.6%	16 55.2%	5 31.3%	10 58.8%	6 27.3%	8 50.0%
2001~5000万円	41 22.0%	6 31.6%	6 20.0%	11 29.7%	7 24.1%	4 25.0%	3 17.6%	2 9.1%	2 12.5%
5000万円超	9 4.8%	2 10.5%		1 2.7%	2 6.9%	1 6.3%	2 11.8%		1 6.3%
合 計	186 100%	19 100%	30 100%	37 100%	29 100%	16 100%	17 100%	22 100%	16 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

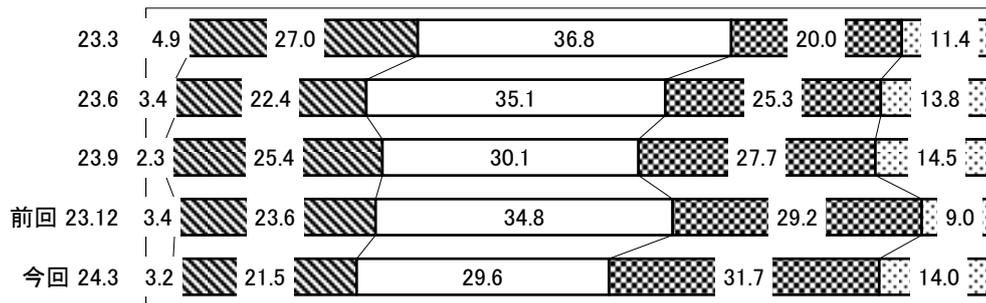
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1~5人	31 16.7%	2 10.5%	2 6.7%	3 8.1%	3 10.3%	4 25.0%	1 5.9%	13 59.1%	3 18.8%
6~10人	27 14.5%	3 15.8%	3 10.0%	5 13.5%	4 13.8%	3 18.8%	3 17.6%	3 13.6%	3 18.8%
11~20人	49 26.3%	1 5.3%	14 46.7%	13 35.1%	7 24.1%	2 12.5%	7 41.2%	3 13.6%	2 12.5%
21~30人	22 11.8%	5 26.3%	5 16.7%	6 16.2%	2 6.9%	1 6.3%			3 18.8%
31~50人	26 14.0%	3 15.8%	3 10.0%	5 13.5%	5 17.2%	3 18.8%	3 17.6%	2 9.1%	2 12.5%
51人以上	31 16.7%	5 26.3%	3 10.0%	5 13.5%	8 27.6%	3 18.8%	3 17.6%	1 4.5%	3 18.8%
合 計	186 100%	19 100%	30 100%	37 100%	29 100%	16 100%	17 100%	22 100%	16 100%

3. 調査結果

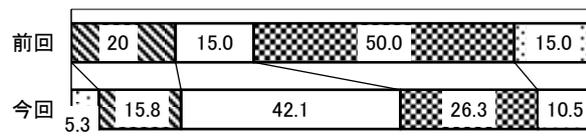
(1) 受注量について

(%)

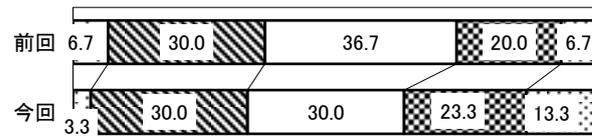
①全体 □増加 □やや増加 □不変 □やや減少 □減少



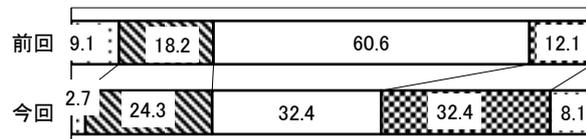
②鉄鋼・非鉄



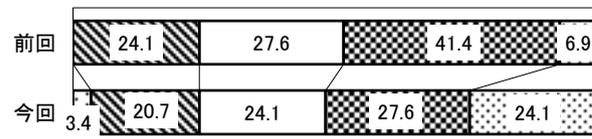
③金属製品



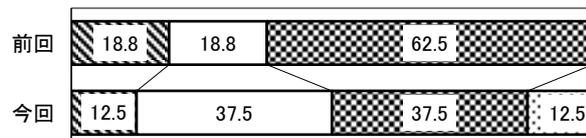
④一般機器



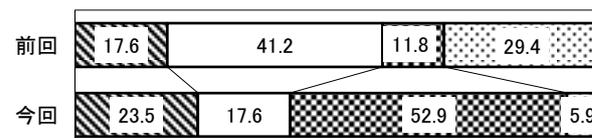
⑤電気機器



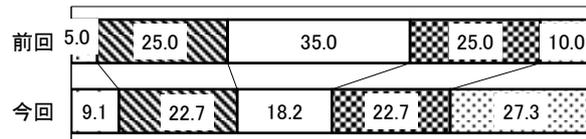
⑥輸送用機器



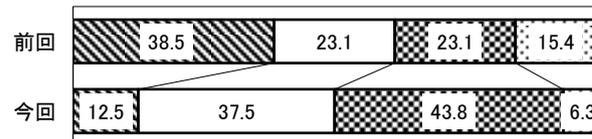
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

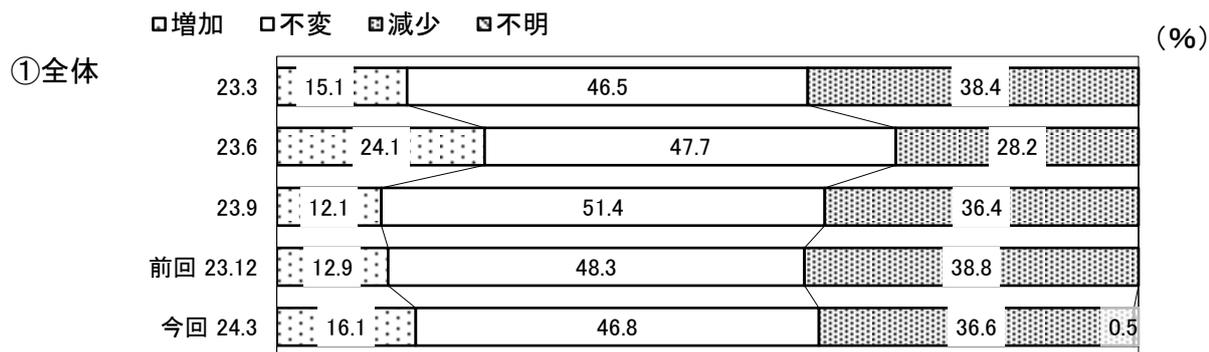
1月～3月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△21.0となり、前期（10月～12月）に比べ△9.8ポイントと、悪化が見られる。

○業種別

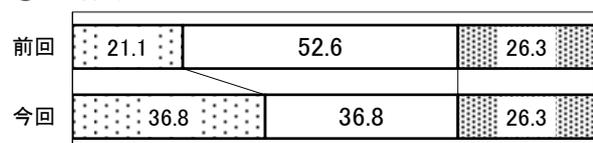
業種別D Iは、すべての業種でマイナスとなっており、特に一般機器で△13.5（前期差28.7ポイント低下）、樹脂製品で△37.6（前期差37.6ポイント低下）と、悪化幅が大きい。

一方、鉄鋼・非鉄で△15.7（前期差29.3ポイント上昇）と改善が見られる。輸送用機器では、△37.5（前期差6.2ポイント上昇）と改善が見られるものの依然として「減少」「やや減少」が半数を占めている状況。

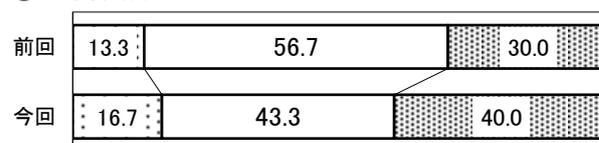
(2) 受注量の見通しについて



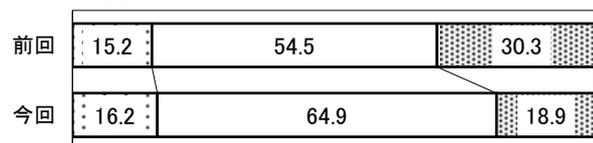
②鉄鋼・非鉄



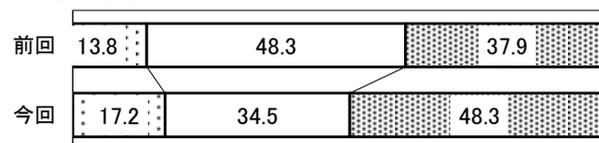
③金属製品



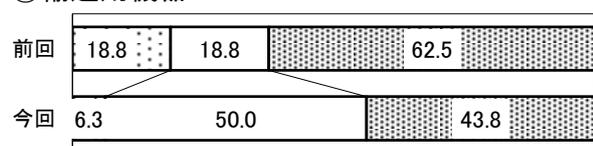
④一般機器



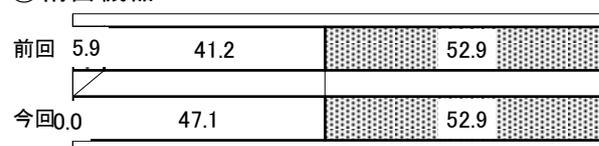
⑤電気機器



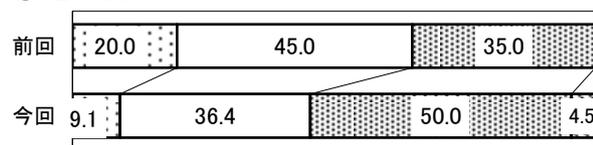
⑥輸送用機器



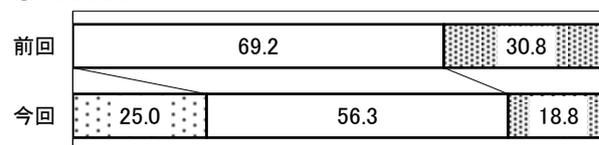
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

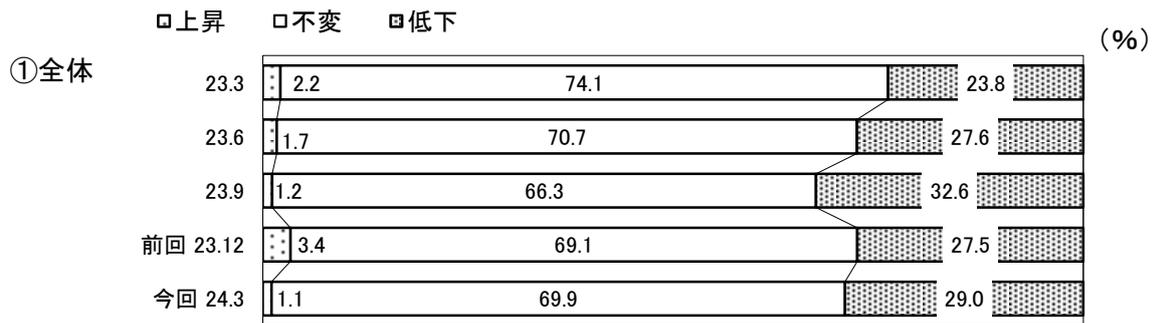
次期（4月～6月期）受注量見通しの全体の業況判断DI（「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△20.5となり、前期（10月～12月）に比べ5.4ポイント上昇し、若干改善の見通しとなっている。

○業種別

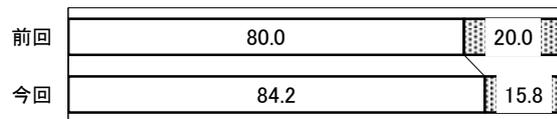
業種別DIは、鉄鋼・非鉄で10.5（前期差15.7ポイント上昇）、一般機器が△2.7（前期差12.4ポイント上昇）、樹脂製品が6.2（前期差37.0ポイント上昇）と、改善を見通している。

一方、縫製で△40.9（前期差25.9ポイント低下）と、悪化を見通している。

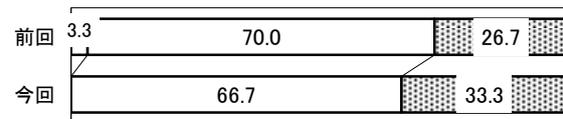
(3) 受注単価について



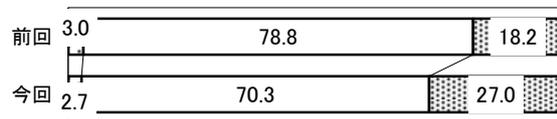
②鉄鋼・非鉄



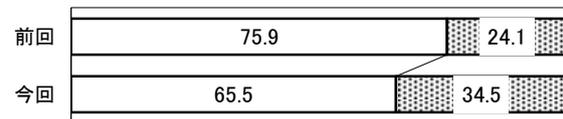
③金属製品



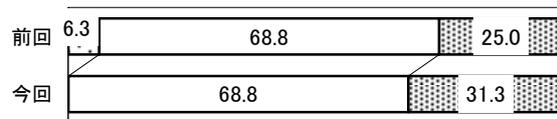
④一般機器



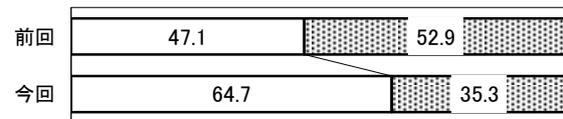
⑤電気機器



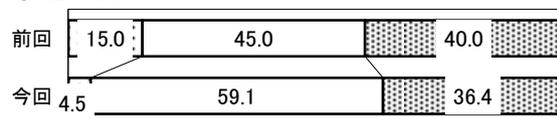
⑥輸送用機器



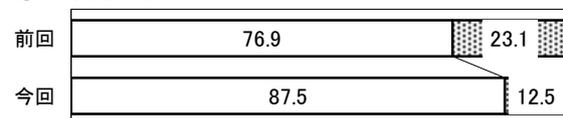
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた数値）は $\Delta 27.9$ となり、前期（10月～12月）に比べ $\Delta 3.8$ ポイントと、僅かに悪化が見られる。

○業種別

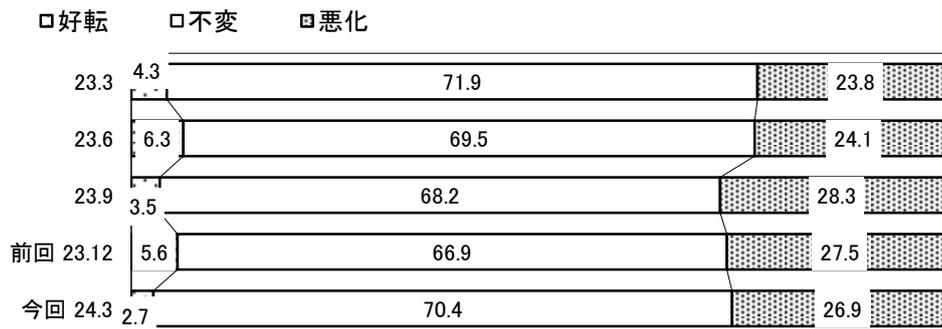
業種別DIは、金属製品で $\Delta 33.3$ （前期差9.9ポイント低下）、一般機器で $\Delta 24.3$ （前期差9.1ポイント低下）、電気機器で $\Delta 34.5$ （前期差10.4ポイント低下）、輸送用機器で $\Delta 31.3$ （前期差12.6ポイント低下）と、マイナス幅が拡大し、悪化が見られる。

一方、精密機器で $\Delta 35.3$ （前期差17.6ポイント上昇）、樹脂製品で $\Delta 12.5$ （前期差10.6ポイント上昇）と、マイナス幅が縮小した。

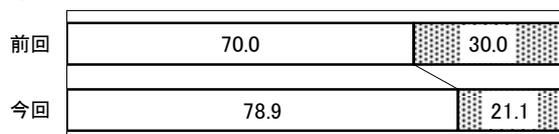
(4) 資金繰りについて

(%)

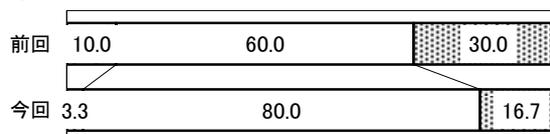
①全体



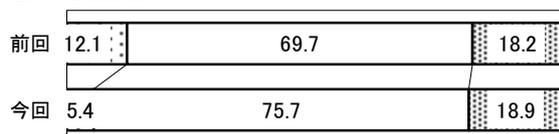
②鉄鋼・非鉄



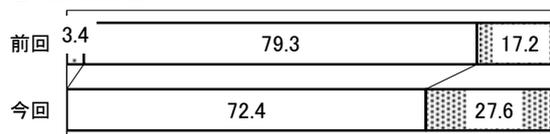
③金属製品



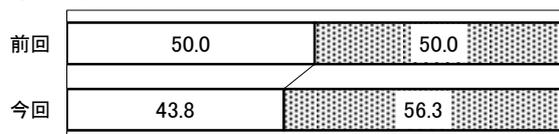
④一般機器



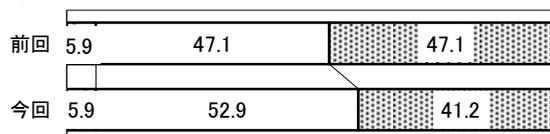
⑤電気機器



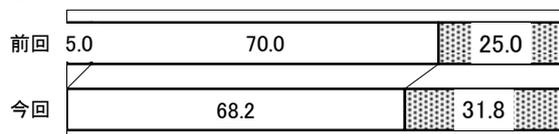
⑥輸送用機器



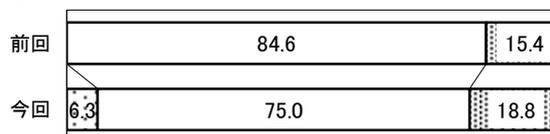
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△24.2となり、マイナス幅が拡大し、前期（10月～12月）に比べ、2.3ポイントと、僅かに悪化が見られる。

○業種別

業種別DIは、電気機器で△27.6（前期差13.8ポイント低下）、縫製で△31.8（前期差11.8ポイント低下）と、マイナス幅が拡大し、悪化が見られる。

一方、鉄鋼・非鉄で△21.1（前期差8.9ポイント上昇）、金属製品で△13.4（前期差6.6ポイント上昇）と、マイナス幅が縮小し、改善が見られるものの、「不変」と回答する企業も増えた。

(5) 採算状況について

(%)

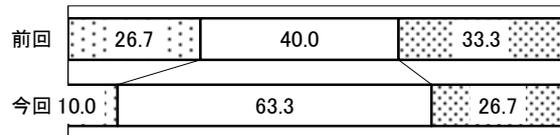
①全体



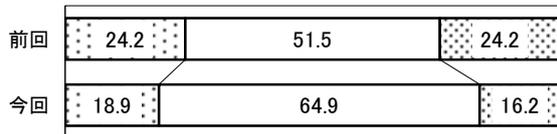
②鉄鋼・非鉄



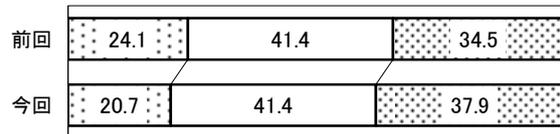
③金属製品



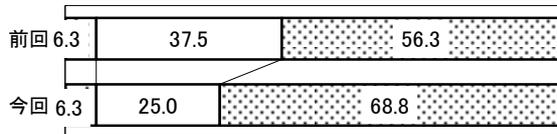
④一般機器



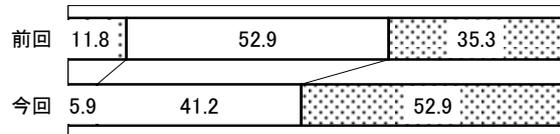
⑤電気機器



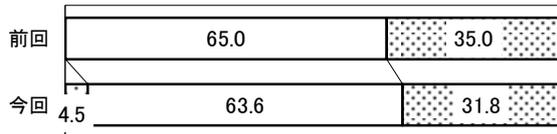
⑥輸送用機器



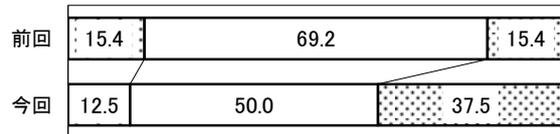
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた数値）は△19.3となり、マイナス幅が拡大し、前期（10～12月）に比べ、△5.3ポイントと、悪化が見られる。

○業種別

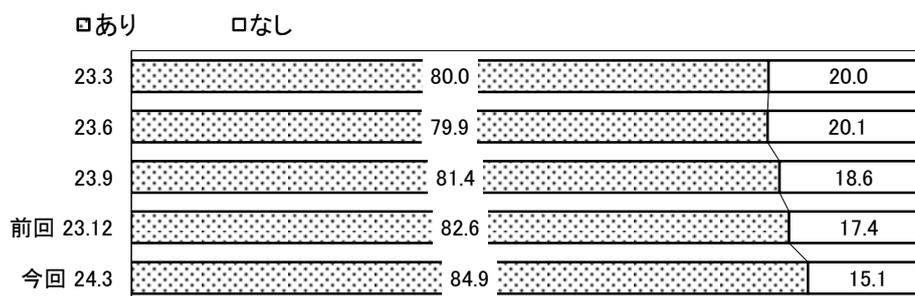
業種別DIは、輸送用機器で△62.5（前期差12.5ポイント低下）、精密機器で△47.0（前期差23.5ポイント低下）、樹脂製品で△25.0（前期差25.0低下）と、大きく悪化が見られる。

一方、鉄鋼・非鉄で5.2（前期差10.2ポイント上昇）、一般機器で2.7（前期差2.7ポイント上昇）、縫製で△27.3（前期差7.7ポイント上昇）と、改善が見られる。

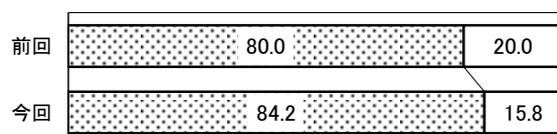
(6) 受注余力について

(%)

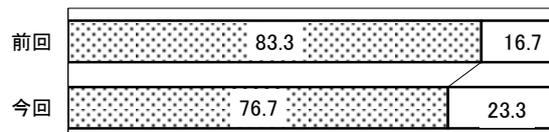
①全体



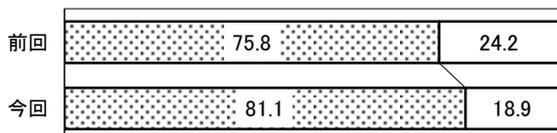
②鉄鋼・非鉄



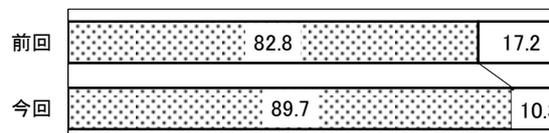
③金属製品



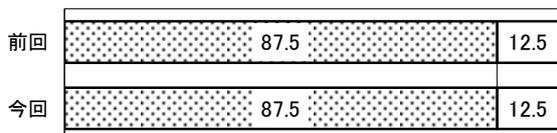
④一般機器



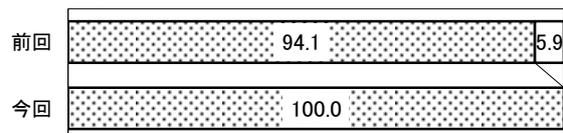
⑤電気機器



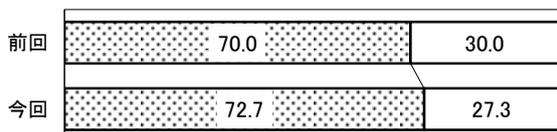
⑥輸送用機器



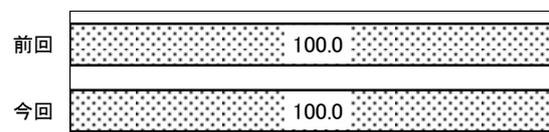
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

受注量の動きに伴い、「受注余力あり」とする企業が4.7ポイント増えた。

○業種別

精密機器、樹脂製品で全企業が「受注余力あり」と回答したほか、鉄鋼・非鉄、一般機器、電気機器、縫製で「受注余力あり」と回答した企業が増加した。

金属製品では、受注量は悪化が見られるものの「受注余力あり」と回答した企業が減少した。

公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail : office@ki21.jp

URL : <http://www.ki21.jp>